



米穀等取扱事業の届出について



主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律の一部が改正され、米の流通実態把握の強化のため、一定規模以上の生産者、集荷業者、卸売業者、小売業者、加工業者、中食・外食業者は米穀等取扱事業者として、新たに届出（食糧法第9条）が必要となります（2026年10月1日から受付を開始）。なお、これまでの米穀の出荷又は販売の事業の届出（食糧法第47条）についても、届出事項が追加となるため、**改めて届出が必要となりますので、ご留意願います。**

届出の対象者

(取扱数量の「トン」は玄米ベース。「精米トン」と記載あるもののみ精米ベース)

	生産	集荷・卸売・第一種小売(※1)		第二種小売等(※2)	加工	中食・外食
届出要件	300トン以上【第9条】 20精米トン以上(消費者等に直売する場合)【第47条】	300トン以上【第9条】 20精米トン以上【第47条】		300トン以上【第9条】 20精米トン以上【第47条】	300トン以上【第9条】	
定期報告要件	300トン以上(※4)	集荷: 5,000トン以上 卸売・第一種小売: 50,000トン以上	集荷: 300トン~5,000トン 卸売・第一種小売: 300トン~50,000トン	300トン以上	300トン以上	
定期報告事項	①在庫量 ②出荷販売量 ③生産量 ④出荷販売の相手方の業種 ⑤その他米穀の流通に関する事項	①在庫量 ②出荷販売量 ③買入数量 ④相手方の業種 ⑤とう精数量 ⑥出荷販売買入価格 ⑦その他米穀の流通に関する事項	①在庫量 ②出荷販売量 ③買入数量 ④相手方の業種 ⑤とう精数量 ⑥その他米穀の流通に関する事項	①在庫量 ②販売数量 ③買入数量 ④その他米穀の流通に関する事項	①在庫量 ②使用数量 ③買入数量 ④その他米穀の流通に関する事項	
頻度	毎年1月・7月	毎月	毎月	毎年7月	毎年7月	

※ 後日、改めて担当セールスよりご説明いたします。

今週の玄米入荷情報

7年産

長野飯山コシヒカリ

佐賀夢しずく特裁

佐賀さがびより

8年産

茨城コシヒカリ

千葉コシヒカリHG

2026年7月のカレーライス物価: 1食349円
11月ぶりに350円下回る(帝国データバンクより)

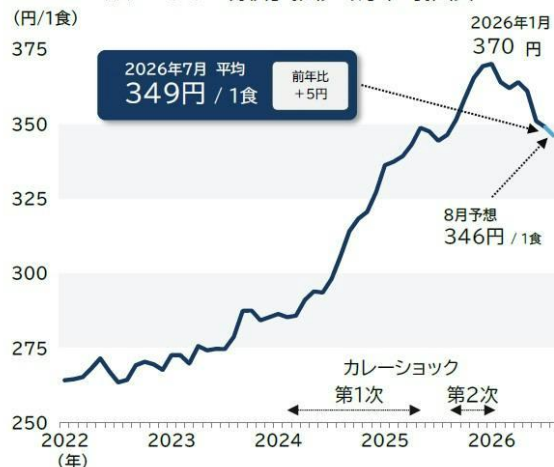
カレーライスを家庭で調理する際に必要な原材料や水道光熱費などの価格(全国平均)を基に算出し、食卓に与える物価高の影響を可視化した「カレーライス物価(平均、2026年基準改定)」は、2026年7月平均で1食あたり349円となった。350円を下回るのは、2025年8月以来11カ月ぶり。

前年(2025年7月: 344円)からは+5円・1.5%の上昇と、金額の上昇幅は2カ月連続で1ケタ台となった。

前月(2026年6月: 351円)からは2円低下した。過去最大となった前月の下げ幅(▲10円)からは縮小した。

全国の物価の先行指標となる東京都区部の物価動向を基に予想した、前月調査時点の予想値(347円)を2円上回ったものの、引き続き低下基調での推移となった。年初(370円)からは21円・6%安となるなど、数年間にわたって続いた「令和のコメ騒動」によるコメ価格高騰の影響は急速に薄れ、カレーライス物価を押し上げてきた「カレーショック」は収束局面に入りつつある。

「カレーライス物価」推移(月平均推移)



【出所】総務省「小売物価統計調査」を基に帝国データバンク作成
【※】カレーライス物価: カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数